



TITLE:

診療瑣談

AUTHOR(S):

盛, 彌壽男; 小野, 榮之; 竹内, 次郎; 根岸, 喜代助

CITATION:

盛, 彌壽男 ...[et al]. 診療瑣談. 日本外科宝函 1935, 12(1): 358-360

ISSUE DATE:

1935-01-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/204233>

RIGHT:

診療瑣談

外傷性十二指腸皮下破裂症例

附 急性腹膜炎ニ際シテ出現スル尿中大腸菌ノ臨床診斷學の意義

盛 彌 壽 男 (10月京都外科集談會所演)

小 野 榮 之

外傷ニヨル十二指腸ノ皮下破裂ハ稀デ吾國デハ橋本氏、黒川、松尾氏ノ2例ノ報告ガアルノミデ、外國デハ總數185例ノ報告ガアルニ過ギナイ。

吾々ハ最近本症ノ1例ヲ經驗シ、尙ホ本例ニ於テハ受傷後6時間半トイフ早イ時期ニ尿ニ培養ニヨラスシテ直接尿ノ沈渣中ニ大腸菌ヲ證明シ得タ。

此ノ尿ノ沈渣ハ電氣遠心器ニヨツテ得タモノデアルガ、斯ル強力ナ遠心力ヲ利用シタナラバ烏瀉教授ノ御提唱ニナル「急性腹膜炎デハ早期ニ尿中ニ大腸菌ガ出現スル」トイフ事實ヲ實際的ニ臨床診斷學の意義アラシメルコトヲ得ルノデハナイカト考ヘ茲ニ御報告スル。

患者：19歳ノ男子、職業ハ石材商。

主訴：上腹部ニ於ケル持續性ノ激痛並ニ壓痛。

現病歴：本日(本年7月17日)午前9時半頃「バツク」ノ信號ヲシテ「トラック」ヲ旋廻セシメテ居タ際ニ鐵筋「コンクリート」ノ橋ノ欄干ト「トラック」ノ後端トノ間ニ腹背ノ方向ニ挾マレタ。而シテ腹壁側ニハ橋ノ欄干ガアリ背側ニハ「トラック」ノ尾端ガアツタ。此時ノ自動車ノ速力ハ非常ニ遅ク且ツ挾マレタ時間ハ瞬間デアツタ。直チニ激シイ腹痛ガ起ツタノデ其場ニ横臥シタ。ソコヘ附近ノ人ガ持參シタ不明ノ物質ヲ飲ンダトコロガ約20分ヲ經テ惡心ガアリ嘔吐シタ。吐物ハ全體ガ血液様デアツタト言フ。意識ハ明瞭デ休憩後ハ歩行モ可能デアツタ。腹部ヲ冷水デ濕布シテ居ルト疼痛ハ輕減シタガ醫視ガ起ツタノデ附近ノ某病院ヲ訪レタ。所ガ此處デ又モ上腹部ニ甚ダ激シイ刺痛ガ起リ約5分間持續シタ。皮下注射ヲ受ケタガ疼痛ガ止マナイノデ吾ガ Klinik ヲ訪レタノデアル。

現在症：一般狀態トシテハ意識ハ明瞭デアルガ苦悶ノ表情ヲ長ハシテキル。體格榮養ハ良、皮膚及ビ可視粘膜ハ蒼白デアル。脈搏ハ緊張良ク整調デアルガ少シク小サク1分間84デアル。呼吸ハ速クテ且淺表デ胸型デアル。舌ニ苔ハナイ。胸部臟器ニ著認ヲ認メナイ。肺肝境界ハ右乳線上デ第6肋骨デアル。

局所所見：腹部ハ膨滿セズ又陷凹モシテ居ナイ。異常ナ靜脈ノ怒張モナク蠕動モ見ヘナイ。臍下1.5cmノ部及ビ臍ノ上10cmノ部ニ横ニ線狀ノ僅カナ皮下溢血ガアル。腹壁緊張ハ腹部ノ右半分ニアリ特ニ上腹部ニ強イ。壓痛ハ腹部ノ右半分ニアリ特ニ劍狀突起ト臍トノ中間デ稍右下ニ偏シタ部ニ強イ。深部觸診ハ腹壁ノ緊張ト壓痛ガ強イノデ充分行ヒ得ナイ。腹部ハ到ル所鼓音ヲ呈シ腸雜音ハ聽ヘナイ。腹壁反應ハ左ニアルガ右ハ全ク消失シテ居ル。入院後發作的ニ約30分ノ間隔ヲ置イテ約5分間繼續スル上腹部特ニ臍ノ上カラ左季肋部ニ亘ル非痛痛性ノ激痛ガ起リ其ノ際ハ呼吸困難、冷汗ガアリ上腹部ニモノノ動ク感ガアルト言フ。時々惡心ガアリ「ガス」ハ出ナイ。尿ハ受傷後3時間半ノモノハ黃褐色、蛋白陽性、糖ナシ、沈渣ニハ膀胱上皮ガ少シアリ。白血球多ク淋糸ガアツタ。大腸菌ハ證明サレナカツタ。所ガ受傷後6時間半ノモノハ數ハ多クナカツタガ。大腸菌ヲ證明シ得タ。嘔吐ハ入院後2回アツタ吐物ハ何レモ「コーヒー」殘渣様デ最初ノモノハ約200ccデ之ハ血液反應強陽性、膽汁色素ハ陰性デアツタガ第2回目ノモノハ230ccデ「ゲメリン」氏反應ガ陽性デアツタ。

レントゲン所見：腹背照射ニ於テ下行結腸及ビ横行結腸ニ「ガス」ノ集積ガアリ第12胸椎カラ第二腰椎ノ間デ脊柱ノ右方ニ瀰漫性ノ陰影ガアル。臍部ニ切線ノ方向ノ照射デハ Freie Bauchhöhle ニ「ガス」ヲ證明シナイ。上述ノ症狀特ニ血性ノ液ヲ嘔吐スルコトカラ消化管ノ上方ノ創傷ト診斷シタガ或ル事情ノタメ手術ガ遅レ受傷後28時間目ニ手術ヲ行ツタ。

手術時所見：0.05%「ヌベルカイン」、アドレナリン「局所麻酔」下ニ劍狀突起カラ臍ニ至ル正中切開ヲ行ヒ腹腔ヲ開クト腹腔ニハ多量ノ haemorrhagisch serös eitrig ノ液ガアツタ。腹膜及ビ腸係蹄ハ充血シ諸所ニ黃色ノ苔ガアル。斯ル苔ヲ有スル小腸ハ左季肋部ニ多ク此部デハ腸係蹄ガ互ニ癒着シテ居ル。ソコデ臍ノ直下カラ左方ニ切開ヲ延長シテ檢スルト椎柱ノ左側上腹部ニ2-3條ノ小腸ガ横行結腸ト集マリ後壁ニ癒着シテ居ル。之ノ癒着ヲ剝離スルト濃イ膽汁ガ少量出、Treitz 氏帶ニ豌豆大ノ穿孔ガアル事ヲ發見シタ。穿孔カラハ膽汁ヲ混ズル液ヲ出シテ居ル。ソコデ Treitz 氏帶ヲ切り十二指腸ノ裏側ヲ鈍ニ剝離スルト Treitz 氏帶カラ口側 0.5cm. ノ十二指腸後壁ニ小指頭大ノ類橢圓形ノ粘膜炎ヲ脱出セル創ガ現ハレタ。創縁ハキレイデ挫滅シタ所ヤ溢血ヲ認メナイ。腹腔ノ清掃ヲ行ヒ創ヲ3重ニ縫合シ腸腔ニ著明ノ狭窄ヲ來サナイ事ヲ確カメ此部ニ「ガーゼ・タンポン」ヲ挿入シ腹腔内ニ連葡混合「コクチゲン」2ccヲ注入シ創ノ大部分ヲ縫合シテ手術ヲ了ツタ。

尙後療法トシテ數回ノ輸血、胃洗等ヲ行ヒ術後3日目ニ「ガス」、自然排便「ガアツタガ術後4日目ニ遂ニ鬼籍ニ入ツタ。

本例ハ外傷ニ依リ Treitz 氏帶ヲ距ル 0.5cm ノ十二指腸後壁ニ穿孔ヲ來シ急性汎發性腹膜炎ヲ起シタ症例デアルガ穿孔壓轉機ニ就イテ考ヘルニ創縁ガ鋭クキレイデ周邊ニ挫滅或ハ溢血ヲ認メナイ點カラ十二指腸ガ脊椎骨ニ壓挫セラレテ生ジタモノトハ考ヘラレナイ。

腸ノ破裂或ハ牽裂ニヨツテ生ジタモノデアラウガ本例ニ於テハ外力ガ緩カニ作用シタノデアラカラ假令十二指腸ニ内容ガ充滿シテキタトシテモ之ガ逃避スル事ガ出來タデアラウシ、場所モ破裂トシテハ都合ノ悪い所ニアルカラ恐ラク破裂ニ依ルモノデモナカラウト思フ。Treitz 氏帶及ビ十二指腸ノ下端ニ裂孔ノ存スルコトカラ推スト緩カニ作用シタ外力ニ依ツテ小腸ガ下腹部ニ向ツテ押シ下ゲラレ後腹膜ニ固定セラレテ移動性ノ少イ十二指腸ニ強イ牽引ガ加ハリ空腸上端ヲ固定スル Treitz 氏帶ト可動性ノ小腸ト隣接セル十二指腸ニ斷裂ヲ來レタモノトスルノガ最モ妥當デアラウト考ヘル。

打撲ニ因ル鼠蹊脱腸囊内腸管破裂ノ一例ニ就テ

名古屋市民病院外科 竹 内 次 郎 (10月京都外科集談會所演)

3年前ヨリ右側鼠蹊脱腸ヲ有スル38歳ノ男、10月13日夕刻材木ニテ下腹部ヲ打撲セリ。脱腸部ハ外傷後還納シ得ザルニ至レリト言フ、診ルニ同部ニ腫脹アリ。同夜入院、外傷後15時間ニシテ手術ヲ行ヒタリ。先ヅコノ部ヲ開クニ脱腸囊内ニ炎症ヲ起セン腸管アリテソノ先端ニ破裂アリ。脱腸囊内ノ炎症ハ腹腔内ヘマデ波及シ且ツ腹腔内ヨリ食物残渣ノ浮游セル膿ガ流出セリ。腸管破裂ノ部ハ腹腔内ニ落ち込マヌヤウニシ、擴ゲタル脱腸内門ヨリ「ガーゼ」ヲ腹腔内ニ挿入シ手術ヲ終レリ。

脱腸ヲ有スルモノ、特ニ勞働者ニアツテハ嵌頓ニヨル危險以外ニ本例ノ如キ外傷ニヨル危險アルベク、豫メ手術、治癒センメオク必要ヲ感ゼリ。

追 加

根 岸 喜 代 助

腹部馬蹄傷ハ屢々腸管破裂ヲ伴ヒ致命傷タルコトアルニ拘ラズ受傷後稍々長時間ニ亙リテ諸
 症狀ノ現出輕易ナルモノアリテ爲メニ開腹手術ノ時期ヲ逸シ最後ノ努力效ナキコトアリ、余ノ
 經驗セル症例中ニハ受傷後29時間後及26時間後ニ至リテ初メテ「腸管破裂疑」ノ諸症狀「濃厚トナ
 リ漸ク開腹手術ヲ施セル苦キ2例ヲ經驗セルモ僥倖ニシテ共ニ同生ノ目的ヲ達セリ。即チ經過
 及手術所見ニ徴スルニ前者「29時間後ノ手術例」ニ於テハ下行結腸上半部ニ漿液膜ヨリ筋膜層ニ
 亙リテ斜走セル1.5輦ノ挫滅創ヲ形成シアルヲ認メタルモ該部粘膜下層及粘膜ノ薄層ハ將ニ穿
 孔セントシテ未ダ穿孔スルニ至ラズ。反之後者「26時間後ノ手術例」ニ於テハ諸症狀經過及手術
 所見ヲ綜合スルニ受傷直後ニハ廻腸挫創部ハ未ダ穿孔ヲ見ザリシガ如ク恐ラク受傷後相當時間
 ヲ經テ初メテ二次的ニ穿孔(斜裂1.5輦)セルモノナリト認メラル。從テ受傷後手術迄ノ時間24時
 間以上ヲ經過遲延セルニ拘ラズ幸ニシテ治癒セルモノナリ。一般ニ「晚期手術治驗例」中ニハ此
 ノ種ノ所謂二次的穿孔例モ亦有り得バント思推ス(昭和9年10月軍醫團誌第257號參照)。

手術方法ノ研究

高度ノ腸膨滿ヲ伴ヘル腸閉塞症ニ對スル治療方針

稻 本 晃 (10月京都外科集談會所演)

一般ニ腸閉塞症ノ際腸膨滿ヲ來スコトハ既ニ周知ノ事實デアリコレガ腸管ノ麻痺ヲ愈々増惡
 セシメル因子トナルモノデアルカラ高度ノ腸膨滿ヲ來セル腸閉塞症ニ向ツテハ原則的ニ安全且
 ツ容易ナル方法ニヨル腸管内ノ瓦斯排出ヲ第一ニ試ムベキデアル。即チ麻痺性腸閉塞症ノ場合
 ニハ腹壁ノ任意ノ數ヶ所ニ小切開ヲ加ヘ其ノ部ニアル腸管ニ穿刺ヲ行ヒ瓦斯並ニ腸内容ヲ吸引
 シ穿刺孔ハ直チニ對角線縫合ヲ以テ閉鎖スルノデアル。又其ノ中一二ヶ所ニハ腸壁ヲ前腹壁ニ
 固定シ置キ術後モ同所ヨリ穿刺吸引ヲ病床ニ於テ繰返シ腸管ノ過度ノ緊張ヲ解イテヤルノデア
 ル。器械的腸閉塞症ニ於テハ閉塞部ヲ明ニシテ其ノ原因ヲ除去スルト共ニ in loco. ニテ何ヶ所
 モ同様穿刺ヲ行ヒ出來ウル限り腸瓦斯ヲ吸引シテ腸管ノ緊張ヲ緩解スルコトガ術後腸管麻痺ノ
 恢復ニ貢獻スル所甚大デアル。此ノ方針ニヨリ最近麻痺性腸閉塞症及ビ器械的腸閉塞症各4例
 ニ就キ非常ニ好結果ヲ得タコトヲ報告スル。

骨 縫 合 2 例

横 山 正 夫 (10月京都外科集談會所演)

第1例 35歳ノ婦人。